

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

一評価の観点一
話・聞：話す・聞く能力
書 く：書く能力
読 む：読む能力
言 語：言語についての知識・理解・技能

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)
A 話すこと・聞くこと(1) 2年エ	1	一 話の内容を正確に聞き取ることができる。		話・聞	70.0	50.9
A 話すこと・聞くこと(1) 1年イ		二 スピーチの内容から、伝える工夫を聞き取り、当てはまらないものを指摘することができる。		話・聞	45.0	60.6
A 話すこと・聞くこと(1) 1年エ		三 スピーチの内容をよりよくするための感想が、どの観点に注目したものなのかを指摘することができる。	◇	話・聞	45.0	42.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) 1年ウ(ア)(イ) 2年ウ(ア)(イ)	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔難易(なんい)〕を正しく読むことができる。		言語	80.0	92.5
		(2) 文脈の中で漢字〔供(そな)える〕を正しく読むことができる。		言語	70.0	73.0
		(3) 文脈の中で漢字〔包装(ほうそう)〕を正しく読むことができる。		言語	80.0	86.4
	二 (1) 文脈の中で漢字〔しゅうろく(収録)〕を正しく書くことができる。		言語	60.0	61.8	
	(2) 文脈の中で漢字〔きず(築)く〕を正しく書くことができる。		言語	70.0	77.0	
	(3) 文脈の中で漢字〔こんざい(混在)〕を正しく書くことができる。		言語	60.0	50.3	
	三 (1) 誤って使われている漢字〔体〕を正しい漢字〔対〕に直すことができる。	◇	言語	40.0	67.3	
(2) 誤って使われている漢字〔貸〕を正しい漢字〔借〕に直すことができる。	◇	言語	40.0	23.1		
伝統的な言語文化に関する事項(1) 1年ア(ア)	3	一 文語のきまりに従って、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。		言語	70.0	57.0
		二 適切な古文の音読の仕方を指摘することができる。		言語	70.0	89.7
C 読むこと(1) 1年ア	三	文脈の中における語句の意味を的確に捉えることができる。	◇	読む	60.0	53.3
国語の特質に関する事項(1) 1年イ(エ)	4	① 単語の類別について判断し、適切な品詞を指摘することができる。		言語	50.0	33.4
		② 単語の類別について判断し、適切な品詞を指摘することができる。		言語	40.0	27.7
国語の特質に関する事項(1) 2年イ(ウ)	二	文の中の文の成分どうしの関係を的確に捉えることができる。		言語	60.0	48.2
C 読むこと(1) 1年カ	三	資料から情報を集め、判断し、必要な情報を根拠を挙げて指摘することができる。	◇	読む	50.0	47.3
C 読むこと(1) 1年ア	5	一 語句の意味を文脈に沿って読み取り、ふさわしいものを指摘することができる。	◇	読む	80.0	89.4
C 読むこと(1) 1年エ 国語の特質に関する事項(1) 1年イ(オ)		二 文章の表現の特徴を捉え、指摘することができる。		読む	55.0	66.4
C 読むこと(1) 1年ウ		三 場面の展開や登場人物などの描写について考え、音読の工夫について根拠を挙げて説明することができる。	◇	読む	40.0	65.0
		四 文章中の表現について、その表現の根拠となる内容を指摘することができる。	◇	読む	45.0	40.4
C 読むこと(1) 1年ア	6	一 文脈から、用いられるべき語句を類推し、文章中から抜き出すことができる。		読む	60.0	38.7
C 読むこと(1) 1年エ		二 文章の内容から判断し、説明に必要な図や文言を挿入する箇所を指摘することができる。	◇	読む	80.0	26.9
C 読むこと(1) 1年イ		三 文章の展開に即して内容を的確に捉え、指し示すことを文章中の言葉を使ってまとめることができる。	◇	読む	40.0	12.4
C 読むこと(1) 1年オ		四 文章の内容を参考に、二つの物を対比させながら、機能と形の特徴について書くことができる。	◇	読む	40.0	54.2
B 書くこと(1) 2年イ	7	「部活動の紹介文」を書くために必要な情報を資料から集め、条件に従った文章を書くことができる。	◇	書く	40.0	51.4

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内				
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	一	内容の聞き取り	70.0	49.0	49.4	42.1	48.2	43.9	56.6	47.6
	二	発表の内容を伝える工夫の指摘	45.0	63.4	63.9	55.9	57.8	57.5	52.0	61.6
	三	聞き取った内容と関連付けてまとめる	45.0	45.0	45.2	41.4	37.4	34.1	39.9	39.4
2	一	(1) [難易(なんい)]の読み方	80.0	92.8	93.4	82.8	92.1	90.9	96.1	90.9
		(2) [供(そな)える]の読み方	70.0	73.3	73.8	65.5	65.1	64.6	63.7	66.4
		(3) [包装(ほうそう)]の読み方	80.0	88.5	88.5	89.7	81.7	79.9	85.8	81.3
	二	(1) [しゅうろく(収録)]の書き方	60.0	61.6	62.2	53.1	57.6	58.3	56.9	57.3
		(2) [きず(築)く]の書き方	70.0	76.2	76.7	69.0	75.8	78.9	75.1	73.1
		(3) [こんざい(混在)]の書き方	60.0	52.4	53.0	41.4	43.2	40.0	47.3	44.0
	三	(1) 誤字訂正(体→対)	40.0	69.4	69.5	66.9	60.5	57.7	55.5	66.6
		(2) 誤字訂正(貸→借)	40.0	26.1	26.5	18.6	17.8	16.9	17.1	19.2
	3	一	[ならむ]の現代仮名遣い	70.0	58.8	59.7	43.4	48.4	48.4	57.3
二		古文の音読の仕方の指摘	70.0	90.9	91.3	84.8	87.1	87.4	86.5	87.3
三		文脈の中における語句の意味	60.0	57.6	57.7	54.5	49.2	49.6	48.0	49.6
4	一	① 品詞の分類(名詞)	50.0	42.3	43.2	26.9	31.0	31.9	29.5	31.0
		② 品詞の分類(副詞)	40.0	38.1	38.7	28.3	27.3	25.6	33.5	25.4
	二	文の中の文の成分どうしの関係	60.0	58.3	59.0	46.9	42.0	41.9	40.9	42.7
	三	資料からの情報の読み取り	50.0	50.7	51.1	43.4	47.5	48.8	50.2	44.3
5	一	語句の意味の指摘	80.0	90.2	90.2	91.0	89.5	90.2	91.5	87.5
	二	表現の特徴の指摘	55.0	69.1	69.7	58.6	68.9	69.7	68.0	68.5
	三	音読の工夫の説明	40.0	69.7	71.0	47.6	61.4	57.7	64.1	63.6
	四	表現の根拠となる内容の指摘	45.0	49.9	50.9	34.5	34.9	33.9	33.8	36.6
6	一	語句の類推	60.0	40.8	41.3	31.7	33.9	36.4	31.7	32.5
	二	説明に必要な図や文言の挿入箇所の指摘	80.0	27.1	27.5	20.7	26.6	27.8	22.8	27.6
	三	指し示す表現の理由説明	40.0	11.3	11.7	4.1	7.0	10.0	4.6	5.2
	四	二物を対比させた特徴説明	40.0	55.2	55.6	47.6	52.4	57.9	49.1	48.5
7		情報を集め条件に従った文章の記述	40.0	49.6	49.9	44.8	39.8	51.8	38.8	27.6
教科全体(全小問の総正答数÷全小問の総解答数)			57.0	57.7	58.2	49.5	51.3	51.6	51.7	50.7

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
53.7	53.2	55.7	54.6	52.5	48.0	44.9	47.8	50.1	60.7	62.8	52.3	51.4	52.4	47.7	50.9
58.8	58.5	55.7	62.2	60.4	57.5	57.4	58.9	57.1	54.1	53.6	56.1	64.4	66.6	56.1	60.6
41.4	41.9	37.4	38.9	46.0	41.8	43.1	45.8	39.4	40.2	39.1	44.7	42.5	43.7	38.2	42.1
92.6	92.6	93.1	90.5	94.0	93.6	92.9	93.0	94.4	96.2	97.2	92.4	90.6	90.9	89.5	92.5
71.4	72.2	68.9	71.8	70.2	69.6	68.7	75.2	68.0	77.0	77.8	73.5	78.9	79.9	75.4	73.0
85.3	85.6	85.9	85.5	83.0	84.1	83.3	85.1	84.2	91.6	92.9	86.4	87.9	88.7	84.8	86.4
59.0	63.1	51.5	58.0	49.4	62.6	64.5	58.9	62.8	66.9	70.3	53.0	64.5	64.6	64.2	61.8
76.6	77.1	77.4	73.3	77.0	74.2	79.3	70.3	72.4	80.1	78.8	85.6	79.7	81.0	74.9	77.0
45.3	49.5	35.4	40.1	42.6	51.8	51.5	49.3	53.0	50.8	50.4	52.3	54.7	54.5	55.4	50.3
64.0	63.7	62.6	64.5	66.4	69.7	69.6	72.0	68.8	67.3	69.4	59.1	69.3	69.6	68.4	67.3
23.2	25.9	20.0	17.2	20.0	20.9	23.0	15.7	21.5	21.2	23.7	11.4	24.5	24.6	24.4	23.1
58.6	58.4	63.0	56.1	57.4	61.2	65.6	61.2	58.3	54.2	59.6	32.6	56.0	55.5	57.8	57.0
89.0	90.3	88.9	83.6	88.3	90.8	91.0	91.5	90.5	89.8	90.6	86.4	89.5	89.2	90.8	89.7
47.4	49.9	45.9	42.7	42.3	57.9	60.2	57.7	56.5	53.6	55.6	45.5	52.3	52.9	50.1	53.3
31.2	27.2	41.0	25.6	44.2	28.5	32.0	32.7	24.6	37.5	39.1	31.1	29.3	29.7	28.1	33.4
23.2	22.3	29.8	22.1	20.8	24.6	32.3	24.5	19.7	23.8	26.1	14.4	23.8	24.5	21.7	27.7
46.0	45.8	48.2	42.4	47.9	44.4	47.1	49.9	40.6	45.5	48.1	34.8	46.4	48.5	38.7	48.2
44.2	46.1	48.9	34.7	39.6	47.3	54.4	39.1	45.9	44.9	48.3	31.1	46.7	47.2	44.8	47.3
88.7	89.8	88.2	85.1	87.9	90.4	90.1	92.1	89.9	88.9	90.0	84.1	88.4	88.0	90.1	89.4
64.5	64.8	64.3	59.9	67.9	63.9	67.5	58.0	64.0	64.8	64.8	64.4	66.3	66.8	64.2	66.4
63.5	63.0	69.2	51.9	70.6	65.1	75.3	68.2	57.3	65.5	69.4	50.0	63.2	62.9	64.4	65.0
38.0	38.1	37.0	29.0	47.2	35.6	44.5	23.3	34.5	36.3	39.5	23.5	40.1	38.9	44.4	40.4
35.9	37.6	36.4	35.5	27.5	40.8	44.2	40.5	38.8	36.9	38.2	31.8	40.3	41.0	38.0	38.7
24.2	24.0	24.3	22.1	26.8	26.2	24.7	28.0	26.4	27.7	28.6	24.2	29.2	30.0	26.2	26.9
16.7	14.7	32.1	18.3	6.8	14.9	22.3	4.4	14.2	13.9	15.2	8.3	10.5	10.2	11.6	12.4
54.9	54.7	57.0	51.5	57.0	52.4	60.7	39.9	51.8	53.6	54.7	49.2	54.8	55.6	51.7	54.2
51.1	47.4	56.7	57.3	55.8	48.0	57.6	34.1	47.1	58.7	57.5	63.6	59.5	60.3	56.3	51.4
53.6	54.0	54.6	50.9	53.7	54.3	57.3	52.5	53.0	55.6	57.1	49.7	56.0	56.5	54.0	55.1

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3	1二	1三	51.2	53.3
書くこと	1	7		51.4	40.0
読むこと	10	5一、5二 5三	4三、5四 6一、6二 6三	49.4	55.0
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	13	2一(1)、2一(2) 2一(3)、2二(2) 2三(1)、3二	2二(3)、2三(2) 4一①、4一② 4二	60.7	60.8

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す・聞く 能力	3	1二	1三	51.2	53.3
書く能力	1	7		51.4	40.0
読む能力	10	5一、5二 5三	4三、5四 6一、6二 6三	49.4	55.0
言語について の知識・理解・ 技能	13	2一(1)、2一(2) 2一(3)、2二(2) 2三(1)、3二	2二(3)、2三(2) 4一①、4一② 4二	60.7	60.8

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
1	一	50.9	70.0	必要な言葉が不足している(39.0)、スピーチの内容に即していない(17.0)、質問の意図を理解していない(7.0)、無答(3.0)
	三	42.1	45.0	イ(31.0)、エ(24.0)、ウ(6.5)、無答(0.5)
2	三(2)	23.1	40.0	間違っただ字を抜き出している(43.5)、無答(28.0)、正しい字に直していない(4.0)
4	三	47.3	50.0	間違っただ情報(資料番号)を使用している(25.0)、「大分類」「請求記号」の両方を使用していない(12.0)、無答(8.5)、資料を基に判断していない(6.0)
5	四	40.4	45.0	文章全体の内容を踏まえていない(34.0)、無答(21.0)、行動について触れていない(6.5)
6	一	38.7	60.0	「楽に」「支え」「駆動」「操作」等、内容に即していない(37.5)、無答(20.0)、条件を満たしていない(5.5)
	二	26.9	80.0	C(30.0)、B(10.5)、E(10.5)、無答(5.0)、A(3.0)、F(3.0)、条件を満たしていない(1.0)
	三	12.4	40.0	内容に即していない(56.5)、無答(27.0)、条件を満たしていない(6.0)

- 誤答の原因として、1一では、正答に必要な言葉が不足している解答が多いことから、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係に着目しながら、要点を捉える力が不足していることが考えられる。

- 誤答の原因として、[1]三では、スピーチの構成を考えながら適切な選択肢を選ばない解答が多いことから、様々な資料を手がかりに、話し手の意図を自分の考えと比べ、考えをまとめる力が不足していることが考えられる。
- 誤答の原因として、[4]三では、間違った情報を使用した解答が多いことから、情報を適切に読み取る力が不足していることが考えられる。
- 誤答の原因として、[5]四では、文章全体の内容を踏まえていない解答が多いことから、登場人物の行動などに着目して読み、心情を捉える力が不足していることが考えられる。
- 誤答の原因として、[6]一や[6]二、[6]三では、内容に即していない解答が多いことから、質問の内容や意図を的確に理解する力や、必要な情報を探し出してまとめる力が不足していることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の一つ目としては、「話すこと・聞くこと」において、話の構成や展開に着目しながら要点を捉え、自分の考えとの共通点や相違点を述べ合う能力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、各領域の指導の中で、話し手の意図を考えて聞くこと、自分の考えと比べて聞くことを意識させるとともに、「話すこと・聞くこと」の指導の中で、他領域との関連を図りつつ、明確な観点を基にした互いの発言の比較・検討をとおして、自分の考えを広げていく工夫をすることが大切である。

指導例

古典の構成を参考にしながら、話したり聞いたりする活動に発展させる指導
～単元名「随筆を読み、『なるほど』と思うことを伝え合おう」～

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせながら、「春はあけぼの」「仁和寺にある法師」を読ませ、構成についての特徴を見付けさせる。

学習活動① 発表をとおして意見を効果的に伝え合うという、学習の見通しをもち、「春はあけぼの」「仁和寺にある法師」を読む。



この単元では意見を効果的に伝え合う力を付けることを目指します。まずは本文の内容や構成に着目しながら教科書を読みましょう。

ポイント

- 現代語訳や解説文なども提示し、原文と合わせて読ませる。
- 文章の内容や構成をまとめさせるワークシートを活用させ、筆者の考えを中心としながら、どんな文章の構成になっているかを考えさせる。

学習活動② 「春はあけぼの」「仁和寺にある法師」を比べ、筆者の考えに着目しながら、文章の構成について気付いたことを話し合う。



兼好法師は、「仁和寺にある法師」の言動を、順を追って説明し、最後に「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。」という考えを述べていると思います。



清少納言は、最初に「春はあけぼの。」と述べた後、具体例を挙げながら、清少納言が考える春の良い点を説明していると思います。

ポイント

話し合いを進める中で、「頭括型」「尾括型」や「双括型」といった文章構成について、話型に生かせることにも触れながら、それぞれに対する理解を深めさせる。

2 二つの随筆から一つを選ばせ、構成や筆者の考えについて「なるほど」と思うことをまとめ、発表の準備をさせる。

学習活動① 随筆を選ぶ観点を確認し、一つを選ぶ。

- 観点 ①筆者の考えに説得力があるか。
②考えを裏付ける具体例や事実に説得力があるか。
③主張を伝えるための構成は効果的か。

学習活動② 「1」での学習内容や選んだ随筆の構成を参考に、自分の考えをまとめ、発表の準備をする。



選んだ随筆を意識して、「頭括型」か「尾括型」のどちらかでまとめましょう。また、随筆の学習を生かして自分自身の体験や見聞を入れるようにしましょう。

「仁和寺にある法師」は、最後に筆者の考えがある「尾括型」だから、ぼくも「尾括型」でまとめることにしよう。案内する人がいなくてぼく自身が困ったのは、どんな場面だったかな？

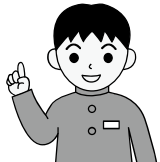


ポイント

- ・構成を参考にさせることで、発表内容がうまくまとまることを意識させる。
- ・自分自身の体験や見聞は、学校生活といった日常生活の場面などからイメージさせる。

3 まとめたものを述べ合い、相互に評価し合いながら交流させる。

学習活動① 「2 学習活動②」でまとめたものを発表し合い、観点到に沿って評価し合う。



先日、〇〇先生が急用でお休みになり、授業が自習になりました。考えてみると、授業が進まないことで困るのはぼくたち生徒です。……つまり、授業には、先生という案内者が必要なのです。兼好法師の「少しのことにも先達はあらまほしきことなり。」という考えは、今でも通じるものであり、なるほどと思いました。

具体例として、学校生活の中で実際にあったことを取り上げていたので、イメージがしやすかったです。考えが最後に来る「尾括型」なので、興味を引く具体例を挙げることができれば、聞く方にとっても分かりやすくなると思いました。



学習活動② 単元の学習を振り返り、学んだことを確認する。

ポイント

- ・「2 学習活動①」で確認した「随筆を選ぶ観点」を、聞く観点として意識させ、交流を行わせる。特に、互いの評価は、観点到を意識しながら行わせる。
- ・交流や振り返りの中で、「頭括型」「尾括型」や「双括型」といった話型に適宜触れ、それぞれが聞き手に与える効果について、考えを深めさせる。
- ・交流や振り返りの中で、接続語やナンバリング、ラベリング等に視点を向けさせることも効果的である。

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の二つ目としては、「読むこと」において、文学的な文章を読むときに、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考える力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、場面の展開や登場人物などの描写に着目して読み、その効果について根拠を明確にして自分の考えをまとめさせることが大切である。

指導例

登場人物の描写が、作品全体にどのように関わっているかを考えさせる指導
～「走れメロス」の登場人物の言動の効果について根拠を明確にして意見交流しよう～

【指導の流れ】

- 1 学習内容の見通しをもたせながら、課題意識を高めさせる。
- 2 作品の最終場面で、登場人物の言動に着目しながら、自分の考えをまとめさせる。

ポイント

登場人物の言動に注目させることで、描写の細部を捉えさせる。

学習活動

メロスとセリヌンティウスが殴り合う場面での二人の言動は、作品全体にどのような効果を与えているか、根拠を明らかにしてノートにまとめる。

- 3 ノートにまとめさせた自分の考えを、グループで交流させる。

学習活動

根拠となる内容を明らかにしながら、グループ内で自分の考えを発表する。



メロスとセリヌンティウスが殴り合う場面での二人の言動は、作品全体の中でどのような効果がありますか。

メロスの誠実さを表す効果があると思います。なぜなら、悪い夢を見て、走るのをやめようと思ったことをセリヌンティウスに話し、謝罪のために殴ってほしいと頼んだからです。



セリヌンティウスの正直さが伝わってくる効果があると思います。なぜなら、メロスの告白を受けて、自分も一度だけ疑ったことを話し、自分のことも殴ってほしいとお願いしたからです。



メロスやセリヌンティウスの人間らしさを表す効果があると思います。なぜなら、葛藤や苦悩、そして、信実や友情など様々な心情の変化が分かるし、殴り合う場面を見ていた王の気持ちも、その後、変わったからです。

ポイント

- ・描写を根拠にさせることで、登場人物の心情の読み取りを確かめさせる。
- ・多様な意見を交流させることで、登場人物について多角的に捉えさせる。

- 4 グループ内で出た意見を代表者に紹介させる。
- 5 友達の考えを聞き、言動の与える効果についてまとめさせる。

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の三つ目としては、「読むこと」において、説明的な文章を読むときに、文章と図表とを関連付けて読み、図表が果たしている役割や効果について捉える力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、説明している文章の内容を的確に捉え、内容にふさわしい図表について考えさせることや、図表を示すことでどのような役割や効果があるかについて考えさせることが大切である。

図表の役割について自分の考えをもたせる指導
～文章と図表との関係を考えよう～

【指導の流れ】

- 1 学習の見通しをもたせながら本文を読ませ、図表が必要な部分を考えさせながら本文を読ませる。

学習活動① 本文だけのテキストを読み、どの部分に図表が必要かを考える。



この文章で、どの部分に図表を入れれば、筆者の伝えたい内容がより伝わってくるかを考えましょう。

ポイント

図表を省略したテキストを使用させることで、生徒の自由な発想を促す。

学習活動② 文章だけでは理解しづらい部分や、具体的な様子が分かりにくい部分、図表があれば効果的だと思う部分に線を引く。

- 2 図表を示すことで分かりやすくなる部分や、効果を上げると思う部分について、グループで話し合わせる。

学習活動 どの部分にどのような図表を入れれば分かりやすくなったり効果を上げたりするか、理由を挙げながらグループで話し合う。



構造の説明が分かりづらいね。作った人たちの高い技術や熱意を知るためにも、構造を図表で示した方がいいね。

言葉だけでは形をイメージしづらいから、何種類かの形を図表で示した方が分かりやすいと思うわ。



ポイント

図表を挿入する部分を考えさせることで、本文だけでは理解が難しい部分に気付かせる。

- 3 図表を含む本文を提示し、分かりやすくなったことや、効果があったことについて話し合わせる。



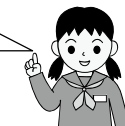
配布したテキストを見てください。元の文章ではこのように図表が入っていました。図表が示されたことでどのように分かりやすくなったか、どのような効果があるか話し合ってみましょう。

学習活動 本文に図表が示されたことで、どのような点が分かりやすくなったか、どのような効果があったかについて、グループで話し合う。



図表で示されたことで、構造が複雑であることがよく分かったよ。技術の高さや、作り手の気持ちがよく分かるね。

形の図表が三つ示されたことで、とてもイメージしやすくなったわ。きれいな形に作るの、本当にすごい技術だというのが伝わったわ。



ポイント

筆者の主張と図表の関連について考えさせることで、図表が本文に与える効果について、考えを深めさせる。

「活用」に関する問題についての課題としては、目的に応じて適切な情報を読み取り、読み取った情報を用いて自分の考えをまとめる力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、「読むこと」の指導の中で、資料から得た情報の整理や分類をとおして情報をまとめさせることや、内容について吟味させることが大切である。

指導例

資料から適切な情報を得て、自分の考えをまとめさせる指導 ～单元名「記事に見出しを付けよう」～

【指導の流れ】

- 1 学習の目標や計画を示し、見通しをもたせる。
- 2 グループごとに配布された新聞のコラム記事からキーワードを抜き出させ、見出しを付けさせる。

学習活動① 資料を読み、10字以内でコラムに見出しを付ける。

学習活動② グループで見出しを確認し合い、キーワードや表現を吟味する。



ぼくは「二つのこと」がよいと思いました。言葉と自分の状況について、二つの言葉で結び付けていると思ったからです。

その見出しも印象に残ります。でも、記事の内容が十分伝わらないと思います。事情があって故郷を離れても、気持ちはつながっているというのが記事の中心だと思うので、「故郷につなげる思い」はどうでしょう。



ポイント

考えた見出しの交流をとおして、情報の効果的なまとめを意識させる。

- 3 注目した人物について二つ以上の記事を探させ、その内容を踏まえて一つの記事にまとめさせる。

学習活動① 自分が注目する人物についての記事を収集する。

学習活動② 収集した記事を引用しながら一つの記事にまとめ、見出しを考える。

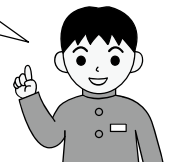


私はオリンピックで4連覇を成し遂げた、伊調選手のことについて調べたいです。でも、どうやって調べようかしら。

ぼくは授業で勉強した「走れメロス」がとてもおもしろかったから、作者の太宰治について調べようと思います。インターネットで人物名を検索すれば簡単に調べられそうだな。

インターネットで検索すると、伊調選手のレスリングに向かう姿勢を取り上げた記事と、家族との絆についての記事がありました。この二つを使ってまとめてみようと思います。

ぼくは「太宰治の作品と青森」という見出しで、太宰治が青森で暮らしていた頃のことと、作品についてまとめてみようと思います。



ポイント

文章の構成や表現、字数等にはこだわらず、収集した記事を用いて感想を交えて書かせる。

4 まとめた文章を読み合わせ、互いに見出しを付けさせる。

学習活動① まとめた文章を互いに読み合う。

学習活動② 読んだ文章に互いに見出しを付け、評価し合う。



記事には太宰治の生涯と作品について書かれているから、「太宰治とその作品」という見出しはどうかしら。

「太宰治とその作品」という見出しは、記事を書いた僕にとっては不十分だと思いました。作品だけではなく、青森県で暮らしていたことについても書いたのです、その部分を見出しに含めてほしいです。



ポイント

見出しが記事の内容を十分踏まえているかを確認させたり、さらにより見出しを考えさせたりすることで、情報を効果的にまとめることについて考えを深めさせる。

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「書くこと（書く能力）」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（言語についての知識・理解・技能）」においては、概ね良好である。しかし「話すこと・聞くこと（話す・聞く能力）」においては、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係に着目しながら要点を捉える力や、様々な資料を手がかりに、話し手の意図を考えたり、聞き取ったことを自分の考えと比べたりしながら、自分の考えをまとめる力が十分とは言えない。「活用」に関する問題では、目的に応じて適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめる力が十分とは言えない。「読むこと（読む能力）」においては、登場人物の心情や行動、情景描写等に注目して読み進める力や、論の中心となる部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、それを根拠に自分の考えをまとめる力が十分とは言えない。

今後、「話すこと・聞くこと」の指導においては、話し手の意図を考えて聞いたり、自分の考えと比べながら聞いたりするなど、互いの発言を比較・検討することをおして、考えを広げていく授業を行うようにしたい。

また、「読むこと」の指導においては、文脈の中における語句の意味を的確に捉えたり、文章中に挿入される図表の効果について考えたり、文章全体における部分の役割について考えたりする授業を行うようにしたい。

いずれの指導においても、情報を自分と結び付けて考えさせたり、交流をとおして多様な考え方に触れさせたりしながら、思考・判断させ表現させる機会を意図的・計画的に設定することで、言語活動を適切に位置付けた授業を行うようにしたい。